



竹富島  
くらし  
通信  
第1号

# 高齢者が安心して住み続けるための活動が始まります

この活動は、竹富島の島民、竹富町役場、沖縄県、沖縄県立看護大学が協働で、竹富島の介護の課題とその解決策をともに考え、実践することで竹富島らしいくらしを創っていかうという取り組みです。

取り組みに先立ち、6月4日(木)に公民館長をはじめとする竹富島の有志に集まっていたいただき、島の医療や介護について意見交換を行いました。

高齢者の介護に関する課題として、「一人住まいの方の見守りが十分にできない」、「地域の方が介護に疲れている」、「高齢者の泊まりのサービスが島で利用できず困っている」などの意見が出されました。

しかし、一部の島民の意見だけでは不十分ということで、二つの疑問があがりました。

『高齢者は何を望んでいるのだろうか？』  
『介護者は何に困っているのだろうか？』



アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。  
ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。



## 話し合いのメンバーを募集しています！

この事業は、竹富島の島民の皆様を主体とし、各集落の代表、地区組織の代表、医療・介護の専門職とで、介護に関する課題について定期的に話し合い活動していきます。活動内容はこの「竹富島くらし通信（仮称）」を通して皆様に随時お伝えしていきます。

話し合いに参加するメンバーを募集しています。  
希望される方は公民館長へ連絡をお願いいたします。